

第5回静岡大学将来構想協議会 意見等集約

No.	頁	行	提案者	区分	内容	対応案
1	1	3	柴田	意見	【原 案】・・・その成果を共有 することを通して 、静岡大学の・・・ ↓ 【修正案】・・・その成果を共有 した 。その 目的は 、静岡大学の・・・	「静岡大学将来構想協議会設置要項」からの引用部分であるため、原案のとりの記載とさせていただきます。
2	1	4～5	柴田	意見	【原 案】・・・貢献していくこと を目的として 令和2年1月に・・・ ↓ 【修正案】・・・貢献していくこと である 。令和2年1月に・・・	
3	1	9	柴田	意見	【原 案】・・・理解しかねると いう多くの意見や 、統合・再編のあり方・・・ ↓ 【修正案】・・・理解しかねると いう多くの意見があった 。統合・再編のあり方・・・	「理解しかねると いう多くの意見 」と、後続の「課題がある という意見 」を並列した文章となっておりますため、原案のとりの記載とさせていただきます。
4	1	14～15	今井	意見	「当初計画していた令和4年4月の新法人・新大学としての学生受入れに拘らずに」は、「当初計画していた令和4年4月の新法人・新大学としての学生受入れにとらわれずに」の方が良いと思う。「拘らずに」とすると、学生は「新法人・新大学」として受け入れるが、一方で「さらに議論を深める意向」という意味にとれる。そうすると、「新大学」の形が不明確であるとする記述（8行～11行）との齟齬が生じると考える。	令和3年1月に静岡大学長・浜松医科大学長が開催した合同記者会見での静岡大学長の発言を踏まえて記載したものであり、原案のとりの記載（ひらがな表記に修正）とさせていただきます。
5	1	14～15	柴田	意見	【原 案】・・・当初計画していた令和4年4月の新法人・新大学としての学生受入れに拘らずに、さらに充実した大学改革を実現するための議論を深めていく・・・ ↓ 【修正案】・・・「当初計画していた令和4年4月の新法人・新大学としての学生受入れに拘らずに、さらに充実した大学改革を実現するための議論を深めていく」・・・	ご提案のとおり修正させていただきます。
6	1	17～18	柴田	意見	【原 案】・・・理解を深め ながら 、そこに・・・ ↓ 【修正案】・・・理解を深め た 。そこに・・・	「理解を深めながら」が、後続する文章にかかりますため、原案のとりの記載とさせていただきます。
7	1	31	柴田	意見	【原 案】・・・地方大学が、今般のコロナ禍による、急激なDX・・・ ↓ 【修正案】・・・地方大学が、①今般のコロナ禍による、急激なDX・・・	ご提案のとおり修正させていただきます（①、②、③は別の個所で使用しているため、1)、2)、3)とさせていただきます）。
8	2	1～2	柴田	意見	【原 案】・・・最大化を図ること、その魅力ゆえに・・・ ↓ 【修正案】・・・最大化を図ること、②その魅力ゆえに・・・	
9	2	3～4	柴田	意見	【原 案】・・・機能する大学であること、知的・人的資源を・・・ ↓ 【修正案】・・・機能する大学であること、③知的・人的資源を・・・	
10	4	25～26	柴田	意見	【原 案】・・・販売農家数 について 、平成27年には・・・ ↓ 【修正案】・・・販売農家数 が 平成27年には・・・	ご提案のとおり修正させていただきます。
11	6	27～28	小長谷	意見	○地域創造学環は、学部横断型教育プログラムとして多様な人材を輩出しており、地元からの評価も高い。 ○これからの地域社会が求める人材とは、文理融合で、幅広い知識を兼ね備え、課題解決能力を有する者であり、地域創造学環が担う役割は大きい。 ○STEAM人材の育成に向けた新学部等の設置に加えて、「学部横断型教育プログラムである地域創造学環の充実強化」という文言を入れることを、検討されたい。	ご意見を受け、地域創造学環で行われているような教育内容の充実強化が必要との趣旨の文言を加筆させていただきました。

No.	頁	行	提案者	区分	内容	対応案
12	6	38～39	柴田	意見	【原 案】・・・必要な人材育成のためのICT活用能力の・・・ ↓ 【修正案】・・・必要な人材育成をめざしICT活用能力の・・・	文章の接続の関係から、原案のとりの記載とさせていただきます。
13	6	41～42	柴田	意見	【原 案】・・・人材育成のための、経営学・・・ ↓ 【修正案】・・・人材を育成するため、経営学・・・	ご意見については、原案の文章で意味が通じると思われますので、原案のとりの記載とさせていただきます。
14	6	43	柴田	意見	【原 案】・・・産業振興に取り組むための、中小企業の・・・ ↓ 【修正案】・・・産業振興に取り組む目的で、中小企業の・・・	文章の接続の関係から、原案のとりの記載とさせていただきます。
15	7	5	今井	質問	「静岡大学が持つ多様な分野と、浜松医科大学の医学・看護分野の更なる連携」の書きぶりは、1法人2大学として現行の静岡大学・浜松医科大学として発足するのが妥当ということ（静岡大学A案）提言として含意しているのか？	WGでは静岡大学の将来像について検討が行われたものであり、この記載についてもA案を前提とした記載ではありません。また、この文中の「静岡大学」及び「浜松医科大学」は、現行の両大学について述べたものです。
16	7	9	柴田	意見	【原 案】・・・人材育成のための情報技術と・・・ ↓ 【修正案】・・・人材育成をめざし情報技術と・・・	文章の接続の関係から、原案のとりの記載とさせていただきます。
17	7	9～10	柴田	意見	【原 案】・・・分野融合などの異分野融合への・・・ ↓ 【修正案】・・・分野融合など異分野融合への・・・	ご意見については、原案の文章で意味が通じると思われますので、原案のとりの記載とさせていただきます。
18	7	35～36	柴田	意見	【原 案】・・・共同開設などの新たな・・・ ↓ 【修正案】・・・共同開設など新たな・・・	ご意見については、原案の文章で意味が通じると思われますので、原案のとりの記載とさせていただきます。
19	7	37～38	柴田	意見	【原 案】・・・有効活用した、分野を横断した・・・ ↓ 【修正案】・・・有効活用し、分野を横断した・・・	ご意見については、原案の文章で意味が通じると思われますので、原案のとりの記載とさせていただきます。
20	全体	-	瀧	意見	ワーキンググループ委員の皆様及び事務局には、これまでの間とりまとめにご尽力いただき、ありがとうございました。 以前からお願いしておりましたとおり、総合大学である静岡大学は、私ども地元の誇りであり、これからも静岡県の中心となる大学として、地域を牽引していってほしいと考えています。今回のとりまとめの案は、そうした私たちの思いを反映していただいたと考えています。 静岡大学には、この提言の内容をしっかりと受け止め、現行の案にとらわれることなく、新学部の設置や静岡・浜松の枠を越えたオール静岡県での連携の強化など、地域の住民にとってメリットのある取組をお願いします。 併せて、静岡大学には、これからは静岡市をはじめ地元関係者へ丁寧に説明していただき、十分な理解を得た上で、進めていただくことをお願いします。	ご意見ありがとうございます。ご指摘については真摯に受け止め、本まとめの内容とあわせて今後の大学改革にあたっての礎とさせていただきます。